

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	なかよしえがお（えがお）		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 12 月 2 日		～ 令和 6 年 12 月 22 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	令和 6 年 1 月 7 日		～ 令和 6 年 1 月 14 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1 月 14 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の活動に対応する環境や体制。	自由時間を作り、本人のやりたいことを聞きながら好きな活動に取り組む時間を作る。 利用者としっかりコミュニケーションを取りながら楽しめる活動を選び、積極的に発信できる環境を作る。	活動の流れや時間といったスケジュールがずれてしまうことも多いので、見通しを立てやすい予定を計画していく。
2	庭を使った運動機能の強化。	積極的に庭遊びやウォーキングなどを取り入れ、身体を動かし発散することを意識して取り組んでいる。 少しずつ年齢層も上がってきて体力もついてきている利用者も多いことから、ルールを持った遊びの中で身体を発散させ楽しむことを学ぶ。	身体の発育や運動能力は個人によるところが大きいため、ひとりひとりに合った活動を組み立てていけるようにする。
3	送迎時等の保護者を通した日々の様子の連携。	送迎の際には、可能な限り活動の様子をお伝えし、学校や家庭での状況を聞き取るようにしている。 普段からの保護者との関わりを深め、些細なことでも話し合える関係を目指している。	帰宅時は利用者もおり忙しい時間帯であるので、時間を取って事業所内で相談しやすいようにするなど整える。 学校の先生や他事業所の連携を強化していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の連携・情報共有。	職員によって勤務日・勤務時間が異なり、日々の振り返りや計画に参加できない場合も多い。	記録を適切に残しておくことで、日々の情報共有ができる環境を整える。
2	他事業所や相談支援との連携強化。	事業所交流会など関わる機会はあるが、事業所間で利用者の課題を共有することが少ない。	連絡の取りやすい関係を築いておき、必要を感じた時にすぐに連絡が取れる体制を作っていく。
3	活動の様子やマニュアル等の情報発信。	書類の作成や配布に手間がかかり、十分な対応がとれていない。	HUGを活用し、日々の活動やお知らせ等こまめに発信していく。